

看護師応援情報誌 [ネスト]

Nest

Vol.34

2018
AUTUMN
WINTER

「感染対策レポート」医療の現場より

医療法人社団 武蔵野会

TMGあさか医療センター

**機器の管理を徹底、きめ細かい
対策でスタッフの意識が向上**

「Hygiene for the world」

茨城県厚生農業協同組合連合会

総合病院 土浦協同病院

**地域と共に進める
感染対策**



医療の現場より

医療法人社団 武蔵野会
TMGあさか医療センター

感染管理者 感染管理認定看護師
石井 みちる さん

機器の管理を徹底、 きめ細かい対策で スタッフの意識が向上

埼玉県南部の朝霞市で、行政や医師会と連携しながら地域医療の一端を担うTMGあさか医療センター。子どもからお年寄りまで幅広い世代が訪れることから、基本を大切に感染対策を展開しています。感染管理者である石井みちるさんと副部長の杉村賢子さんとお話をうかがいました。



「清潔」「不潔」をゾーニング

Nest編集部（以下、編） まず、貴院について教えてください。

石井 首都圏の各地域で医療や介護、保健、福祉を展開する戸田中央医科グループ(TMG)の6番目の病院として、1977(昭和52)年に開設されました。当初は内科や外科など6科、122床でしたが、増改築や診療科目の新設を繰り返し、地域のニーズに応えてきました。2018年1月に移転、旧称の「朝霞台中央総合病院」から現在の名称へと変更しました。生活習慣病や各種悪性疾患(がん)、小児医療などに力を入れ、現在は緩和ケア内科なども含めて28科、446床となりました。

編 どのような患者様が受診されるのでしょうか。

石井 30代から50代といった働き盛りの世代が多い地域ですが、子どもからお年寄りまで幅広い世代の方々が来られます。

編 2018年1月に移転されて、どのよう

なところを改善されましたか。

杉村 ベッドサイドを広くするなど患者様が使いやすいように、また私たちスタッフがスムーズに動けるように設計を工夫しました。移転後、私たちが検査室や薬局などいろいろな部署に行く動線を調べてみたところ、以前の病院よりも効率的に時間を使えていました。

編 感染対策という面ではどう改善されましたか。

杉村 感染の温床になりやすい手洗い場を病室以外の場所に集中させました。それと、ベッドパンウォッシャーを各部署に配置しました。以前はベッドパンウォッシャーが設置されていない部署は、設置されている部署へ使いに行っていましたので、その必要がなくなり、効率が格段に良くなりましたね。

編 感染対策で力を入れている点は。

石井 「清潔」と「不潔」をきっちり分ける

ことですね。私は3月からこの病院で働いているのですが、スタッフに「ナースステーションを清潔に保つ」という意識を持ってもらうのが当初の目標でした。

編 どのようなことから始めたのですか。

石井 まずは点滴作成台(ミキシング台)です。点滴作成台は、スタッフステーション内で一番清潔度が高いことが望まれます。スタッフへの意識づけをするため、ラウンドをしてゾーニングや必要な物品がそろえられているか、血液汚染のごみが放置されていないかをチェックし、現場にフィードバックしていきしました。【点滴作成台の清潔環境の維持と清潔操作徹底のための4原則】を作って可視化し、守るべきルールをより解りやすくしました(※1)。

編 他にはどのようなことに取り組んだのですか。



感染対策について話す副部長の杉村さん



点滴作成台は、いつも清潔な状態に保つ



回診車も整理整頓。変更後は、上段には基本的に手指消毒剤のみを置く

チェック表で“見える化”

石井 回診車のゾーニング、衛生管理です。私が赴任した時は、回診車に多くの物品が搭載されていましたので気になりました。回診車の上段は、本来、清潔にするべきエリアです。上段には手指消毒剤のみを置き、他の物品はすべて引き出しにしまうようにしてもらいました。紙の箱や輪ゴムはほこりの温床になりやすいので、いかに使わずに整理するかも理解してもらいました。その際もチェック表を作り、各病棟のラウンド、フィードバックに繰り返し取り組みましたね。

編 なるほど、回診車に必要以上のものを載せると良くないですね。使用する分だけ載せて回することで衛生管理が徹底されますね。

石井 そうですね。1日に必要な分は病棟ごとに違いますが、管理の方法はすべての病棟で同じにもらえるよう、改善を図りました。

編 ICT(インфекション・コントロール・チーム)のラウンドはどのようにされているのですか。

石井 1年間のスケジュールを作り、各部署のICTメンバーが輪番制で、自分たちが普段目にしないようなところも含めて回っています。

みんなが同じ視点でラウンドができるよう、病棟と医療技術部門、外来部門とそれぞれの部門で項目を変えたチェック表を作りました。毎週木曜日にラウンドをして、「不適切である、あるいは行われていない」という項目については指摘、改善してもらっています。

編 チェック項目はどうやって作りましたか。

石井 感染防止対策地域連携加算で使われるラウンドチェック項目表をベースにして、そこに感染管理者の視点から改善したい、強く意識してほしいと思った項目を追加していきしました。

編 成果は上がってきましたか。

石井 そうですね。特に、衛生管理については意識は高まりました。今後は、スタッフがどのくらい改善したのかが解るように可視化できればと思っています。

編 スタッフに対して取り組んでいる事はなんですか。

石井 各手洗い場に、正しい手洗いの

順序や方法を示したポスターを掲示しています。患者様が使われる手洗い場や汚物処理室、トイレなどに貼り、来訪者の方たちにも正しい手指衛生を実施していただけるような環境づくりを目指しています。

編 “見える化”することが大切ですね。

石井 それぞれのゴミ箱には捨てるものの写真を貼って、ナースステーションで捨てるもの、汚物処理室で捨てるものを区別しています。血液や体液など患者様から排出された医療廃棄物は、ナースステーションではなく、汚物処理室に捨てなければいけません。患者様から出たものは、ナースステーションに持ち込まないということが大前提です。

編 ゾーニングに取り組む事が重要なんですね。

石井 ゾーニングに取り組むうえで、一つの物品に対して、患者様にどういった場面、どのような目的でどうやって使うのかということをスタッフが一人ひとりがそれを理解してもらうことが重要ですね。清潔なものは清潔な状態で維持をして、患者様に提供するということが、感染管理の基本であると考えています。



患者様や来訪者に適切な手洗いを実践してもらう



ゴミ箱には捨てるものの写真を掲示する(ナースステーション)



感染制御実践看護師・看護部課長の渡辺真由子さんと連携で感染管理を行っている

地域の方々が 安心できる医療を

編 スタッフに感染管理の意識をどのように持ってもらうかが難しいですね。どのように対応をしていますか。

石井 現場を回って指摘事項を所属長にフィードバックするというよりは、その場でスタッフにOJTをして、業務の中で感染対策を意識してもらっています。「それはだめだよ」ではなくて、「どうして今、そのよう

な行動をとったのか」を振り返ってもらい、「こうした方がいいよね」と気付いてもらう。スタッフと良い関係をつくるために、日々現場に出向いています。

編 今後、取り組みたいことは。

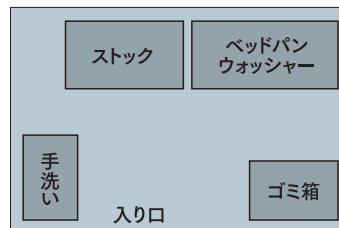
石井 現在、中心静脈カテーテル関連の血流感染のサーベイランスはしているのですが、SSI(手術部位感染)のサーベイランスにも取り組みたいです。病院で手術をした人がどのような状況にあるのかを

データ化して分析し、SSIの低減につなげていきたいですね。

杉村 地域の皆さまに安全な医療が提供できて、受診される方も安心してかかれるような、きめ細かい対策を進めていきたいです。

石井 地域の方々にいろいろな場面で「あさか医療センターの感染対策は安心できるね」と言ってもらえるような病院にしていきたいと思っています。

徹底したゾーニングで清潔に



ベッドパンウォッシャーがある汚物処理室は、動線が一方通行となるように物品の配置を工夫した。広いスペースを取れなくても、入ってすぐに廃棄し、ベッドパンウォッシャーで洗浄・消毒を行い、最後に手洗いをして出ていけるようになっている。

◀ 汚物処理室の配置



汚物処理室のゴミ箱は、手荒い場と対局の位置に置いた。何を捨てればよいかが一目で分かるよう、捨てるものの写真を掲示している。

フットペダルでスムーズに

ボタンを押さずに、フットペダルを利用して開閉することもできる。機器をスムーズに洗浄・消毒でき、感染のリスクも抑えられる。



効率的に機器を洗浄

移転前は、ベッドパンウォッシャーがない部署は、ある部署まで行って機器を洗浄していた。移転に伴い各部署にベッドパンウォッシャーを導入した結果、業務の効率化が進んだ。



医療法人社団 武蔵野会 TMGあさか医療センター

〒351-0023 埼玉県朝霞市溝沼1340-1

受付時間：8:00～17:00

診療時間：9:00～13:00、14:00～17:30(土曜日13:00以降は一部休診科あり)

休 診 日：日曜日、祝日、年末年始

電話番号：048-466-2055

**病院理念：高度な医療で愛し愛される病院
患者様を自分の家族と思う医療**

- 地域住民、地域医療機関と密着した医療
- 医療人としての自覚と技術向上のための教育
- 連携組織による24時間救急体制の実施
- 最新医療機器の導入による高度な医療
- 何人も平等に医療を受けられる病院



内科 / 呼吸器内科 / 循環器内科 / 消化器内科 / 腎臓内科 / 心療内科 / 外科 / 呼吸器外科 / 消化器外科
小児外科 / 肛門外科 / 整形外科 / 脳神経外科 / 形成外科 / 小児科 / 皮膚科 / 泌尿器科 / 婦人科 / 眼科 / 耳鼻科
リハビリテーション科 / 麻酔科 / 放射線科 / 精神科 / 神経内科 / 歯科口腔外科 / 緩和ケア内科 / 救急科

地域と共に進める感染対策

地域での感染対策への意識を高めるためには、院内はもちろん、行政や他施設を巻き込んだ活動も重要です。今回は、大病院から小規模な福祉施設まで、地域の多様な施設と連携して感染対策を進める茨城県厚生農業協同組合連合会・総合病院土浦協同病院(茨城県土浦市)の取り組みを取材しました。



地域における様々な感染対策の取り組みについて話す(左から)湯原さん、薬剤部薬剤主任の市川智之さん、感染管理認定看護師の鈴木あやさん

近隣の多様な医療機関と連携

◆移転により感染対策設備を増強◆

土浦協同病院は、1948(昭和23)年の設立以来、茨城県南部の地域医療を担ってきました。2016年、現在の場所に移転。病床数800床、33診療科、最新の医療機器や大型ヘリポートを備え、救急医療や高度医療、災害医療に対応する地域の中核病院として、さまざまな医療機関との連携を進めています。

移転に伴い、院内設備も増強。感染対策においては、小児科外来と救急部門にそれぞれ陰圧室を設置しました。感染症病棟にも、陰圧室を6床設けました。

◆全部署で感染リンクスタッフを選出◆

同病院の感染対策は、諮問機関であ

る感染症委員会(ICC)と、病院長の直轄組織で、実働部隊の感染管理チーム(ICT)とで活動しています。看護師だけではなく、事務系のコ・メディカルを含むすべての部署で、感染予防活動の中心となる感染リンクスタッフを選出します。スタッフが20人を超える部署では、感染リンクスタッフをサポートする感染サブリンクスタッフを配置しています。2018年8月現在の感染リンクスタッフ、感染サブリンクスタッフは計86人です。職場では、研修会などで得た知識や技術を実践しています。

各部署の感染リンクスタッフは、1年を通して院内のケア検討会に参加します。感染管理室から提示される「部署における感染管理評価表」を使って、所属部署における感染対策の現状を評価・分析し

て目標や介入案を策定。そして、その活動成果を毎年2月または3月に行われるケア検討会で発表します。

感染対策の中で、特に力を入れているのが手指衛生です。看護部だけでなく、院内のコンビニエンスストアや美容室などサービス施設を含むすべての部署でも、毎月、アルコールの使用量を感染管理室に提出するよう指導。病棟においては、1日の患者1人あたりのアルコール使用量を算出し、ICCで発表しています。年間を通して成果を挙げた部署の管理者や感染リンクスタッフ、サブリンクスタッフ、病棟スタッフは、ICCから表彰されます。また、手指衛生に尽力した部署には、手指衛生指導者シールが贈られます。

表彰やシールの制度を始めて約3年が経ちますが、少しずつ成果が出ているようです。同病院の感染管理認定看護師で、感染管理室長を務める看護師長、湯原里美さんは「手指衛生の遵守率は本当に上がりました」と話します。院内の感染症委員会や医療安全管理委員会などの研修を受けた際にも、受講証明のシールがもらえる仕組みです。



手指衛生に積極的に取り組んだスタッフには指導者シールが贈られる



感染症委員会などの「教育」に出席すると参加証明シールがもらえる



手指衛生で成果を挙げた部署の管理者等は表彰される



【左後列】鈴木 あやさん(感染管理認定看護師)、佐藤富子さん(感染管理室事務員)、来栖佳緒理さん(感染管理室事務員)
【左前列】酒寄祐子さん(臨床検査技師主任)、湯原 里美さん(感染管理室長、感染管理認定看護師)、市川 智之さん(薬剤主任)

流行性疾患の予防対策への介入と地域連携の強化

◆ 県内の厚生連6病院で 感染対策委員会を設立 ◆

地域の他施設との連携も、年々強化しています。2009年からは、同病院を含む茨城県厚生農業協同組合連合会に所属する6病院で感染対策委員会を設立し、定期的に各病院で2時間程度のラウンドを行っています。ラウンドを受ける、受けないは希望制です。「ラウンドでは、よいところはもちろん、できていないところも指摘して、各病院に持ち帰ります。それが、『土浦の病院でこんなことが指摘されたけど、うちはどうなのか』と見直すきっかけになります」(湯原さん)各病院から参加し

た委員は、ラウンドと併せて、写真付きのラウンドニュースレターを作成。それぞれの病院に持ち帰って発行しています。

委員会が設立されてから9年となり、参加する6病院の連携も強まりました。2012年には、6病院が同じ検査方法で、スタッフの抗体検査を病院負担で実施することができました。また、6病院内でスタッフが異動する際には、自分の流行性疾患の抗体価データを異動先の病院の感染担当者に提出するというルールも徹底されるようになりました。

さらに、地域連携では、診療報酬の感染対策防止加算において、感染防止対策加算2を算定している3病院との合同カンファレンスを、3カ月に1回開催。2016年以降は、加算2病院にも、感染リンクスタッフのケア検討会に参加してもらい、加算1病院の40部署と、加算2病院の感染対策の取り組みの成果を、地域連携の公開報告会で、「感染対策の見える化」の一環として発表をしています。

全国的に地域包括ケアシステムの構築が進む中、14年からは、茨城県内の小規模病院や福祉施設などを対象に、管轄保健所も巻き込んだ感染対策の研修会を実施しています。

◆ 薬剤耐性菌をテーマに講演 ◆

そして18年7月、感染分野としては初めて、同病院で一般市民を対象にした公開講座「しのびよる薬剤耐性菌～今なら間に合う耐性菌対策」をテーマに開催しました。抗菌薬の不適切使用で薬剤耐性菌が増加し、抗菌薬が効かなくなることが、世界的に問題になっているからです。この問題に対して有効な対策が講じられなかった場合、2050年には、薬剤耐性菌によって世界で年間1000万人が死亡するという推計もあります。

公開講座では、同病院呼吸器内科の齊藤和人部長が耐性菌について、小児科の渡辺章充部長が実際の診療で抗菌薬を処方するタイミングなどについて講演。感染制御認定薬剤師の市川智之さんが抗菌薬について話し、湯原さんが感染予防の基本について講演しました。市民や職員ら255人が参加し、耐性菌や抗



感染対策について入念に打ち合わせをする



ベッドパンウォッシャーによる洗浄も徹底

菌薬などへの理解を深めました。

また、公開講座と併せて、手の汚れチェックや、一般家庭のソファやリモコンなどに付着した菌の展示、嘔吐処理に使える使い捨てエプロン作成、免疫アップにつながる食品、レシピの紹介コーナーも設置しました。

湯原さんは「市民の方の反応は良く、評価も高かったです」と話します。講座後のアンケートでは、「満足」「どちらかといえば満足」という回答が全体の85%を占めたほか、定期的な講演の開催を臨む声も寄せられました。興味のあるテーマとして、市民も病院スタッフも、インフルエンザや胃腸炎、ワクチン関連を挙げる人が多かったそうです。

◆薬剤師同士の連携も進める◆

他には、地域の各施設の薬剤師同士

感染分野では初の市民公開講座も

の連携も進めています。薬剤師は、感染対策においては、消毒薬の適正使用や曝露対策などに取り組めます。抗菌薬関連では、クリニカルパスに入っている薬剤や、手術で使う薬剤の見直しも行います。

薬剤師同士の連携では、HIVの予防や治療薬について、土浦協同病院で活動するHIVコーディネーターナースの協力を得ながら、情報交換などを行っています。土浦協同病院薬剤部の薬剤主任を務める市川さんは「例えばこれまで東京の病院に通っていた方が、お年を召してなかなか通えなくなった時に、施設などできちんと受け入れができるよう連携していく必要があると思います」と話します。偏見にとらわれずに、正しい知識に基づいて対応しなければいけないからです。

◆地域の介護施設へのアドバイスも◆

感染管理認定看護師が地域の介護施設などにボランティアで足を運び、感染対策のアドバイスをする草の根的な活動も進めています。

湯原さんによると、経費の問題で充実した感染対策に取り組めない介護施設もあるといいます。「マンパワーが不足しているところもあるので、何が問題で何が必要か、優先順位はどうかということを、現場のスタッフと一緒に評価する必要がある

ります」(湯原さん)湯原さんと共に感染対策に取り組む感染管理認定看護師、鈴木あやさんは「いくらこちらの理想を話しても、本当に物がないところもあるので。現場に行って、一緒にどうするかを考えて実践していくという介入のやり方を進めていきたいです」と話します。

様々な方法で、地域での感染対策の浸透を図る土浦協同病院。湯原さんは「病院や施設だけでなく、住民へのアプローチも進めていきたい。保育施設や小学校に出向き、手指衛生を幼少期からしっかり指導したいです」と意気込みます。公開講座で出た意見を現場にフィードバックする取り組みは、今後も続けていくそうです。



感染対策分野では初の市民向け公開講座も開いた

茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院 土浦協同病院

〒300-0028 茨城県土浦市おおつ野4-1-1

受付時間：8:30～11:30

休診日：土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始

電話番号：029-830-3711

病院理念：

- あらゆる患者の希望に応える総合的かつ全人的医療を実践
- 予防医療・救命救急医療・高度先進医療・リハビリテーション・緩和医療に亘る、包括的地域医療を実践
- 全職員が医療人としての自覚を持ち、人間性の涵養と最先端の研鑽に励む



総合内科／循環器内科／消化器内科／呼吸器内科／腎臓内科／血液内科／代謝・内分泌内科／膠原病内科／神経内科／小児科／新生児科／小児外科／消化器外科
心臓外科／血管外科／呼吸器外科／形成外科／脳神経外科／整形外科／皮膚科／泌尿器科／乳腺外科／産科／婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／歯科口腔外科／麻酔科
ペインクリニック／緩和ケア／心身医療科／救急集中治療科／集中治療科／放射線診断科／放射線治療科／化学療法科／予防医療科／病理診断科／リハビリ科

旅するローカル京都

山科・蹴上 エリア

京都の東、滋賀と接する
山科・蹴上エリアには、
見どころがいっぱい！
もみじの名所、毘沙門堂や
風情がある琵琶湖疏水で
そぞろ歩きを楽しんで。



京都 山科 毘沙門堂



京都に5カ所ある天台宗の門跡寺院(皇族や貴族とかがわりが深い寺院)の一つ。京の七福神の毘沙門天をまつことからその名がつけました。本尊の毘沙門天は、天台宗の宗祖、伝教大師作と伝えられています。山科盆地を見下ろす山腹にあり、春の桜、秋の紅葉は見事です。見る角度によって変化して見える宸殿の襖絵(狩野益信作)や天井龍(狩野永叔主信の作)などがあります。



琵琶湖疏水沿いを
散歩するのもいいね

拝観時間 | 8:30~17:00(16:30最終受付)

冬季(12月1日~3月15日)/8:30~16:30(16:00最終受付)

住 所 | 京都市山科区安朱稲荷山町18

JR・市営地下鉄「山科駅」、京阪電車「京阪山科駅」から徒歩約20分

問 合 | ☎075-581-0328

<http://bishamon.or.jp/>

※取材は9月中旬頃です

山科駅・ 蹴上駅への アクセス

◆お車の場合

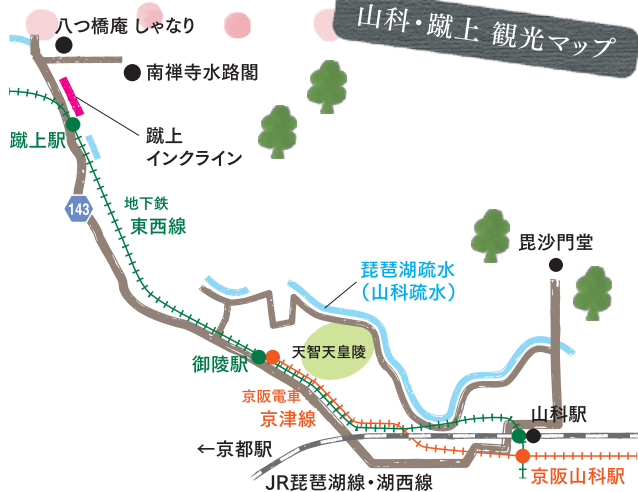
○京都東I.C.~三条通り経由~山科駅前(約6分)、蹴上駅前(約14分)

◆電車の場合

○山科駅/京都駅~JR琵琶湖線・JR湖西線で「山科駅」下車(約5分)

○蹴上駅/京都駅~市営地下鉄烏丸線で「烏丸御池駅」乗り換え~市営地下鉄東西線で「蹴上駅」下車(約16分)





京都を代表する和菓子・生八つ橋の手づくり体験!生地を練り込んで、3つの味の八つ橋を作ります。できあがった八つ橋は持ち帰り可能。その他、「京菓子ねりきり細工体験」や「生麩まんじゅうづくり体験」などもあります。

予 約 | 要(2人様以上)

所要時間 | 約1時間

参加費 | 1人 1,370円(生八つ橋3個、おうす(お抹茶)付)

住 所 | 京都市左京区南禅寺草川町69-1
地下鉄東西線「蹴上駅」から徒歩約6分

問 合 | 八つ橋庵 しゃなり ☎075-754-0611

<http://syasani.yatuhasian.jp>

生八つ橋の
生地をこねて...



のばして...



切って
包んで



できあがり!!



八つ橋庵 しゃなり
生八つ橋
づくり体験

おうす
美味しい



映えるね!

蹴上
エリア



蹴上インクライン

全長582mの世界最長の傾斜鉄道跡。高低差約36メートルの琵琶湖疏水の急斜面で、船を運航するために敷設されました。

住 所 | 地下鉄東西線「蹴上駅」から徒歩約3分

南禅寺内に
あるよ



南禅寺水路閣

1888(明治21)年に造られた、全長93.2m、高さ9mの水道橋。レンガ、花崗岩造り、アーチ型橋脚の風格ある建造物で、紅葉の名所。

住 所 | 京都市左京区南禅寺福地町
地下鉄東西線「蹴上駅」から徒歩約10分

琵琶湖疏水
とは

滋賀県大津市の琵琶湖取水口から、山科・蹴上を経て、京都市伏見区の宇治川などに至る運河で、現在も使われています。幹線の第1疏水に第2疏水、分線を合わせた総延長は約30km。明治維新後、人口が減り、衰退した京都を復興させようと、1885(明治18)年から約5年かけて完成しました。琵琶湖から引いた水は水力発電などに利用され、水路は貨物や旅客の輸送に使われました。2018年春からは、観光船「びわ湖疏水船」の定期運航が始まりました。

今すぐ食べたい！
お取り寄せ
Sweets
まあるい&わっかのスイーツ



1 2



3 4



1 ドーナツ 12個 2,040円(税込)~

卵アレルギーの子どものために考え出された、卵を使わないドーナツ。自然酵母で発酵させたふっくらモチモチ生地の食感に、定番から四季おりおりに用意される季節品まで約12種のフレーバーがなじむ。油っぽくなく、やさしい甘さは大人にも好評で、お店ではゆったり落ち着いた雰囲気の中で淹れ立てのコーヒーとともに楽しめる。

◆ニコット&ママ

☎075-223-3630 (京都市中京区車屋町通押小路上る)
オンラインショップ <http://doughnut.jp/>

2 クリームブリュレドーナツ 3個 972円(税込)~

ふわふわの豆乳ドーナツにカスタードクリームをたっぷり詰め、表面をキャラメリゼしたクリームブリュレドーナツは、パリパリの食感とほろ苦い風味がアクセントになった新感覚スイーツ。なんと、このBruleeが発祥のお店である。他にもチョコ・生キャラメル・宇治抹茶などがあり、濃厚なおいさが楽しめる。

◆Brulee クリームブリュレドーナツ専門店

☎050-1133-2180 (京都市中京区上瓦町69)
オンラインショップ <https://item.rakuten.co.jp/howzit/cbd-1/>

3 バウムクーヘン 1段 648円(税込)~

ドイツで約9年修業し、職人として最高峰の製菓マイスターを取得した元薬剤師の女性が開いたお店。低農薬・有機栽培のこだわり素材を使った安心して食べられるバウムクーヘンは、定番のはちみつ・抹茶・チョコミント・ビターチョコに、「栗とそば粉」「りんごとごま」のように組み合わせも斬新な季節限定品が加わる。

◆ズーセス ヴェゲトゥス

☎075-634-5908 (京都市北区紫竹下竹殿町16)
オンラインショップ <http://www.sv-baum.com/>

4 デコバウム 3個 900円(税込)~

厳選素材で丁寧に焼き上げる、こだわりのカステラ屋さん。もう一つの人気者が、バウムクーヘンだ。やわらかくきめの細かい年輪に焼き上げたバウムクーヘンだけでも深い味わいを楽しめるが、さまざまなフォンダンをトッピングしたデコバウムは見た目にもキュート。どれを食べようか？迷って全部食べたくなるかわいさだ。

◆NIJU-MARU(カステラハウス一番館)

☎075-572-4666 (京都市山科区大宅神納町150)
オンラインショップ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/ca-1bankan/>

草花あそび

クレマチス。今年に入ってまた覚えた。私が見たものは濃い紫色をしていて、薄く外に開いた花びら。この花は種類も多く、一年を通してそれぞれ多様な花が咲くらしい。名前自体は、どこかの美術館の名前として知っていたのだけれど、この絵になる花が、そうかこれがクレマチスなのかと嬉しくなった。

もともと母や祖母が花好きではあるが、京都にやってくるまで、花の名前を知ることはなかった。不思議だ。

私の地元は田舎なので、どちらかというと育った環境の方がより密接だったはずなのである。野草を使ったり、イチヨウの葉に埋もれてみたり、巷の草花、時には味見？も。とにかく、手入れも行き届かないほどの緑が、いつも身近に育っていた。

京都へ来ると、もちろん街もあるし緑自体は田舎のそれに比べると減るのだけれど、サルズベリ、ヤマザクラ、モクレン、ロウバイ、...とだけだけの花の名前を覚えたか！そして、覚えた花に出会うたびに、安心した心地よい気持ちになる。

記憶をたどれば、大変な思いをして作品の搬入に向かっていた夏空の下、

空の色にも負けない鮮やかなピンクのサルズベリ。蕎麦屋のおかみさんが活けた可憐なヤマザクラ。黄昏時に、仕事の折にみる街路樹の、しっとり白くたわわなモクレン。近所のおじさんが持ってきた、味のある形のロウバイ。

覚えた花を思い出すとき、景色まで鮮明に覚えているのは、草花に印象に残る形で出会うことが、京都に来て増えたからかも知れない。寺社仏閣で見頃を迎えるそれも逸品だが、室内に持ち込んだり、見立てることとで和菓子として現れたり、草の名、花の名をもつお店があったり、生活の中に瑞々しく現れる。これはこの土地が育んだ、草花とのお付き合いの良さだろうか。

新しく花の名前を知ると、季節が一週したとき思わぬ嬉しい時間をもらえることがある。見つけて、ただ花を楽しんだり、去年のことを思い出してみたりする時間。ただ、季節に立ち止まるという安心の時間、優しい時間である。



nanto!paint

1984年京都府生まれ。音楽と文学に、なびきっぱなしのペインター。個展、グループ展、イベント出展などマイペースに活動中。

逸品
×
日本酒

なます柚子釜

新酒が出回る晩秋から来春にかけては、できたての生酒を味わえるのが楽しみだ。生酒ならではのみずみずしさは、とりわけ吟醸・大吟醸酒に強く感じられる。豊潤な香りとすっきりした味わいを持つお酒は、淡白な白身魚や柑橘を合わせると引き立て合う。柚子釜に入れば、おもてなしにもぴったり。

材料 (4人分)

大きめの柚子…4個／白身魚の刺身…70g／水菜…90g／シメジ…1パック／イクラ…少々／大根おろし(水気を絞って)…大さじ4／みりん…小さじ1／白だし…小さじ1／塩…少々

作り方

- 1 柚子はフタになる部分を切り落とし、中の房をくり抜く。房は絞って柚子酢を取っておく。柚子の底部分の表皮を1個につき2cmほど切り取り、細かく刻む。
- 2 刺身は細く切り、塩ひとつまみと柚子酢小さじ1であえる。水菜とほぐしたシメジは塩茹でして食べやすく切る。
- 3 柚子酢大さじ1・みりん・白だしを、大根おろしと刻んだ柚子皮に混ぜる。
- 4 具材を③で和え、くり抜いた柚子に詰める。上にイクラを飾ってフタを添える。

料理と酒を愛する人
川添智未

酒好きが高じて利酒師・日本酒学講師の資格を持つ、生まれも育ちも京都のライター。



今回の日本酒

富翁 大吟醸純米
ささにごり

720ml 1,728円(税込)

北川本家 <http://www.shop-tomio.com/>



明暦3(1657)年の創業以来、伏見の豊かな水と切磋し続ける技によって生み出される富翁。中でも11月中旬(予定)から春まで限定販売の「ささにごり」は、米を49%まで磨いた大吟醸純米のオリをうすら残した生酒で、香り高くフレッシュな風味が楽しめる。



小川医理器株式会社

本社／〒613-0031 京都府久世郡久御山町佐古外屋敷64
TEL.0774-44-5161(代) FAX.0774-44-5576

東京営業所／〒812-0007 東京都墨田区石原4丁目27-9
TEL.03-5809-7436 FAX.03-6866-7437

福岡営業所／〒812-0007 福岡市博多区東比恵2丁目13-15 クレセント'89 102号
TEL.092-413-5191 FAX.092-413-5189

東北営業所／〒990-2323 山形市桜田東2丁目10-26 ミューゼ95
TEL.023-679-5766 FAX.023-625-1166

物流／京都府久世郡久御山町佐古外屋敷91

Nest

看護師応援情報誌【ネスト】